

小さいことが気になる  
急に身長が伸びなくなった



こんな時は、まずは受診をしてみよう！！！！

## ✿受診の時の持ち物

母子手帳

幼稚園・保育園、学校などでの成長の記録

低身長問診票をダウンロードして自宅で記入してご持参下さい ⇒

問診票は  
ここをクリック

## ✿受診の流れ

問診表の記入(持参して頂いた場合は省略します)

↓

身体計測

↓

診察、低身長について説明

↓

必要であればレントゲン、採血

↓

後日、結果説明



結果によっては成長ホルモンの分泌をみる負荷試験を行います。

## ✿成長ホルモン負荷試験

2泊3日の予約入院で成長ホルモンの分泌を調べる検査です。身長や成長ホルモンの分泌の悪さが基準を満たしていれば、成長ホルモンを補う治療を行うことができます。

## ✿治療の流れ

低身長の基準を満たし、成長ホルモンの負荷試験の結果成長ホルモンが足りないと診断された場合、希望があれば成長ホルモンの注射を行うことができます。

成長ホルモンの注射は毎日寝る前にお家で行うこととなります。お尻やお腹や太ももなどに注射しますが、痛みも少なく副作用も少ないので安心できる治療です。

当院では医師・看護師・薬剤師がチームとなり、ご家庭で安全・安心に注射が行なえるようサポートさせていただきます。注射開始時には看護師が注射の方法を説明し、デモ機を使って一緒に練習します。実際に注射が行なえるようになった後、家庭での注射が開始となります。開始後1ヶ月目、2ヶ月目には看護師との面談時間を設けており、注射手技の確認やご質問をお伺いしています。また、お子様が10歳(1/2成人式)をむかえる頃には、お子様が自身の治療に向き合い主体的に治療を行っていただけるように、看護師と面談する機会を設けています。一緒に治療を頑張っていきましょう。